

基本施策 学校教育

◆現況と課題

- 2018年度から小学校、2019年度から中学校で新しい学習指導要領が完全実施されることになり、道徳の教科化や英語教育、ICT教育の実施など、こどもたちのこれからの時代に必要となる資質・能力を育む教育が求められています。
- 教員が対応を求められる課題は多岐にわたります。児童生徒により良い教育を行うために教員の資質、能力の向上と多忙化解消に向けた取り組みが必要です。
- いじめ・不登校、非行などへの対応、また、特別支援教育やこどもの貧困問題、日本語指導が必要な児童生徒など新たな教育課題への対応が必要です。
- 近年の猛暑や生活様式の変化に対応することで、児童生徒が学校で安全快適に過ごせる環境を整備する必要があります。

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

小牧市の未来を担うこどもたちの温かな心の源となる「愛」と、自らを高める意志の源となる「夢」、社会をたくましく生き抜くことができる「生きる力」を育てるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
こどもが学校に元気に通い、学校で楽しく過ごしていると思う保護者の割合	92.6%	↑
学校が楽しいと思うこどもの割合	91.3%	↑

◆基本施策の体系



◆展開方向1：児童生徒の学びや学校生活を充実します

【目標】

- すべての児童生徒にこれからの時代に必要となる資質・能力を育む教育を進めます。
- 安全でおいしい学校給食を提供します。

【手段】

- 教員の指導力・授業力の向上を支援するため教職員研修を実施します。
- これまでの教育内容を維持するとともに英語教育の充実、ICT教育の推進の取り組みを進めます。
- 学校と地域が協働して児童生徒の豊かな成長を支援します。
- 児童生徒と向き合う時間を確保するため、教員の多忙化解消の取り組みを進めます。
- 学校給食を通じ、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につける取り組みを進めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
授業の理解度（小学国語）	79.8%	↑
（小学算数）	77.5%	↑
（中学国語）	72.4%	↑
（中学数学）	69.5%	↑
授業中にICTを活用して指導する能力	82.5%	↑

◆展開方向2：児童生徒や家庭への支援体制を強化します

【目標】

- 支援が必要な児童生徒や家庭への支援を行います。

【手段】

- 経済的な理由により就学困難な児童生徒やその保護者を支援します。
- スクールソーシャルワーカーや学校生活サポーター等を適切に配置します。
- 外国にルーツを持つ日本語教育が必要な児童生徒を支援するため、語学相談員を適切に配置します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
スクールソーシャルワーカーが相談を受けて、解決した件数	2件	↑
就学援助制度の認定者数の割合	8.6%	↑

◆展開方向3：安全・安心で快適な教育環境を整備します

【目標】

- こどもたちが安全に過ごし、快適に学べる環境を整備します。

【手段】

- 老朽化した施設・設備などの改修、更新を計画的に進めます。
- 関係者と連携して、通学路の安全確保を図ります。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
トイレの洋式化率	41.2%	↑
特別教室のエアコン設置率	46.5%	↑

基本施策

子育て支援

◆現況と課題

- 少子化によりこどもの数は減少しているものの、子育て施策に対する各家庭のニーズは多様化しています。それぞれの事情に対応した適切な支援ができるような体制を整備する必要があります。
- 市民アンケートによると、「安心して子育てができるまちと思う」と回答した割合は、近年 50%台で推移しています。地域で安心して子育てができる環境を提供することが必要です。
- 小牧市の待機児童数は減少傾向ではありますが、引き続き待機児童の解消に向けた取り組みを進めていく必要があります。
- 地域で身近に相談できる相手がいないなど、地域とのつながりが希薄化している子育て家庭があります。地域ぐるみでこどもの成長を見守る体制の整備が必要です。

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

子育てをしているだれもが、安心して子育てができる体制を整えとともに、こども自身が健やかに成長できるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
小牧市の合計特殊出生率	1.42	↑
人口に占める 18 歳以下人口の割合	18.2%	↑
男性の育児休業取得率		↑

◆基本施策の体系



◆展開方向 1：子育て家庭を支援します

【目標】

- 放課後児童クラブ支援員の質を向上し、安定したサービスを提供します。
- 児童虐待を減らす取組を進めます。
- ひとり親家庭のこどもの大学進学者数を増やします。

【手段】

- 支援員に放課後児童支援員キャリアアップ研修を受講させて、資質の向上を図ります。
- 児童虐待を未然に防止できるよう相談体制を充実します。
- ひとり親家庭等入学支援金制度を活用して、大学等に進学しやすい環境を整えます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
放課後等児童支援員キャリアアップ研修受講者数	21 人	↑
ひとり親家庭のうち市の入学支援金により大学等に進学した割合	39.3%	↑

◆展開方向 2：地域の子育て・子育てを支援します

【目標】

- 児童センター、児童館、子育て世代包括支援センターの利用者数を増やします。
- 子ども会活動の活性化を促進します。

【手段】

- 利用者のニーズにあった講座の開催や利用者寄り添い居心地の良い環境を提供します。
- 補助制度を活用して市子ども会連絡協議会を支援します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
子育て世代包括支援センターの利用者数		↑

◆展開方向 3：保育・幼児教育を充実します

【目標】

- 待機児童を解消します。
- 保育園の民営化を推進します。

【手段】

- 保育所や認定こども園の新設や私立幼稚園の認定こども園化を図ります。
- 移管方式 [※] により市内保育園の民営化を進めます。  
※移管方式：既にある公立保育園の土地及び園舎建物を民間団体に貸与・譲渡し、民間団体に設置主体、運営主体を移管する方法

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
待機児童数	3 人	↓
市内保育園に占める私立保育園の割合	15%	↑

◆展開方向 4：健全な青少年を地域で育てます

【目標】

- あいさつのできるこどもを、地域ぐるみで育てます。
- こどもの社会性を育てます。
- こどもの健全育成に関わる人を増やします。

【手段】

- 青少年健全育成市民会議や校区健全育成会と連携をとり、あいさつ運動を中心とした取組を推進します。
- 同世代のこどもや地域の大人と交流できるような地域活動の場を提供します。
- 「駒来塾」学習サポーターのやりがいなどを効果的に PR します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
中学生の地域活動への参加率	65.0%	↑
駒来塾学習サポーターの登録者数		↑

基本施策 スポーツ

◆現況と課題

- 生涯を通してスポーツ（運動）に親しむことは、心身ともに健康で文化的な生活を営むうえで必要不可欠なものとなっています。生涯にわたってスポーツを生活習慣にできるよう、保健や介護、子育てなどの関係機関との情報共有や連携を図りながら、自発的に気軽に取り組めるスポーツ環境の整備が必要です。
- 市民意識調査によると、成人の週1回以上スポーツの実施率は全体で46.4%であり、年代別では男女ともに65歳以上の実施率は高いものの、20歳代・30歳代の女性は20%台の実施率であるなど、年代や性別により実施率に差がある状況となっています。多くの人が気軽にスポーツに取り組める環境の整備が必要です。
- 本市のスポーツ推進の中心的存在である（公財）小牧市体育協会は法人化35周年が経過していますが、加盟人数は減少傾向にあります。関係者・団体と連携を図りながら、広く市民のスポーツ活動を支える環境の整備が必要です。

◆基本施策の目的及び状態指標

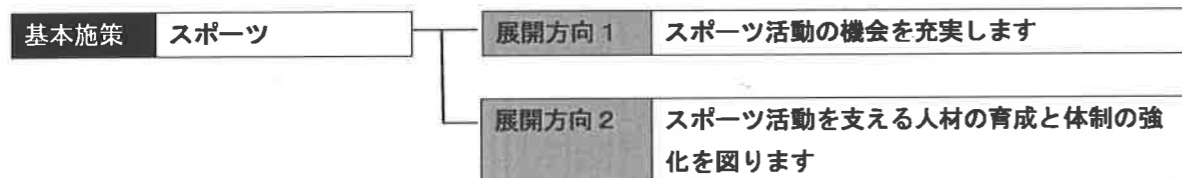
【基本施策の目的：目指すまちの姿】

市民のスポーツ活動を支える環境を整備することにより、心身ともに健康で文化的な生活が送れるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
週1回以上スポーツをしている成人市民の割合	46.4%	↑

◆基本施策の体系



◆展開方向1：スポーツ活動の機会を充実します

【目標】

- 多くの人がスポーツに取り組める環境を整備します。
- 健康づくりを目的としたスポーツ環境を整備します。

【手段】

- 小牧市体育協会、スポーツ団体、スポーツ推進委員、公認スポーツ指導員と連携して、初心者向けスポーツ教室・講座の開催の充実を図ります。
- ライフスタイルや目的に合わせて必要とするスポーツプログラムなどの情報を提供します。
- 健康づくりを目的としてスポーツに取り組みたい人が実行できるよう、保健や介護、子育てなどの関係課・関係機関と連携して、活動機会の充実を図ります。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
スポーツ教室・講座等への参加者数		↑

◆展開方向2：スポーツ活動を支える人材の育成と体制の強化を図ります

【目標】

- 多様化するスポーツニーズに対応するため、指導者を育成するとともにその活動を支援します。
- 小牧市体育協会をはじめとする関係者・団体と連携を図りながら、広く市民のスポーツ活動を支える環境を整備します。

【手段】

- スポーツ指導者の育成やスポーツ推進委員や公認スポーツ指導員のスキルアップと活動の充実を図ります。
- スポーツ指導を受けたい人や団体が指導を受けられるよう指導者とのマッチングが行える体制を整備します。
- 市、スポーツ推進委員、小牧市体育協会や加盟競技団体、地域スポーツ団体が相互に連携し、効率的、効果的にスポーツの推進に向けての情報共有ができるようネットワークづくりに努めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
スポーツ指導者登録者数	55人	↑

基本施策

文化・生涯学習

◆現況と課題

- 長寿化に伴い、人生100年時代に対応した生涯学習サービスの提供が求められています。市民が生涯を通じて健康で生きがいを持って暮らすための学習ニーズに応えていくため、生涯学習への関心を高めていくとともに生涯学習サービスを充実させる必要があります。
- 小牧市の図書館の利用者数及び貸出冊数はともに平成21年度をピークに減少傾向です。市民の生涯学習に役立つ資料を揃え、さまざまな読書相談に応じることにより、利用者数の増加を図る必要があります。
- 現在の図書館は貸出中心の図書館ですが、近年では、滞在型の図書館が求められています。また、市民アンケートによると、Wi-Fi環境の整備、タブレットの貸出、電子書籍の提供等の要望があります。さまざまなニーズに対応した新たな図書館の整備を進める必要があります。
- 小牧の歴史・文化に興味・関心を持っている市民の割合は、平成25年度の63.1%から平成29年度には53.8%まで減少しています。小牧市のシンボルである小牧山をはじめ、市内の文化財の魅力を発信することにより、歴史や文化への関心を高める必要があります。
- すべての市民が、年齢、障がいの有無、経済的な状況等に関わらず、文化・芸術に親しむことができる環境を整備する必要があります。

◆基本施策の目的及び状態指標

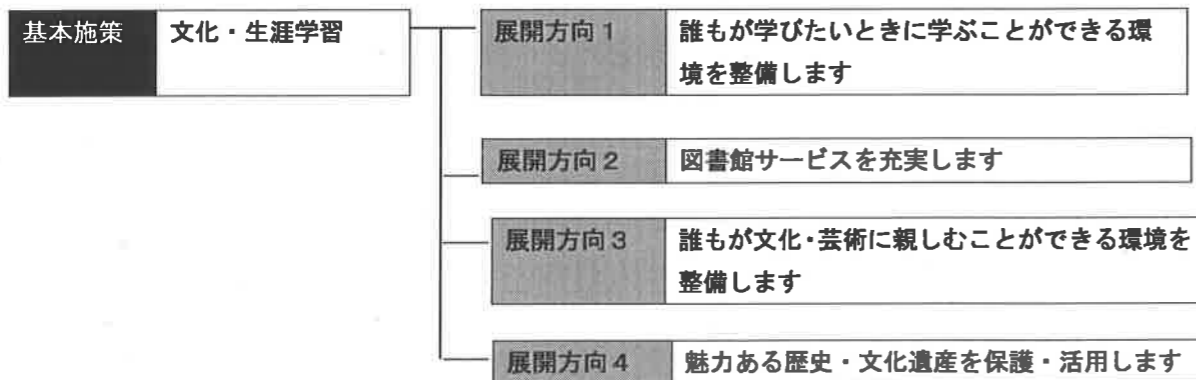
【基本施策の目的：目指すまちの姿】

豊かな人生を支えるため、文化・芸術に親しむとともに、生涯を通じて学ぶことができるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
日頃から文化・芸術に親しんでいる市民の割合	52.4%	↑
生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	28.5%	↑

◆基本施策の体系



◆展開方向1：誰もが学びたいときに学ぶことができる環境を整備します

【目標】

- 誰もが生涯を通じて学ぶことができる環境を整備します。

【手段】

- 高齢者学級や、退職後の学び直しなど、高齢期の学びと学びをとおした社会参加の促進を図ります。
- 幅広い世代のさまざまなニーズに対応した生涯学習に関する情報発信や相談体制の充実を図ります。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
公民館利用率	45.6%	↑
市民講座受講者数	2,209人	↑

◆展開方向2：図書館サービスを充実します

【目標】

- すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館とすることで、利用者を増やします。

【手段】

- ティーンズコーナーの充実をはじめ、幅広い年齢層にとって魅力ある蔵書を構成するとともに読書相談機能を強化します。
- 市民の利便性の向上を図るため、電子書籍や最新の機器を導入するなど図書館のICT化を進めます。
- 多くの蔵書や座席、市民が交流できる機能を備えた居心地の良い滞在型の新図書館の整備を進めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
利用者数（資料の貸出者数）		↑
貸出冊数		↑

◆展開方向3：誰もが文化・芸術に親しむことができる環境を整備します

【目標】

- 誰もが文化・芸術に親しむことのできる機会を増やします。

【手段】

- こまき市民文化財団や文化団体等と連携して、こどもから高齢者まで幅広い世代に向けて魅力ある文化事業を推進します。
- 文化活動の発表、発信の拠点として文化施設等を計画的に整備します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
市民会館での公演等の参加者数	59,799人	↑
こどもまたは親子で参加する文化体験教室などの参加者数	718人	↑

◆展開方向4：魅力ある歴史・文化遺産を保護・活用します

【目標】

- 小牧固有の歴史・文化遺産を将来にわたって継承します。

【手段】

- 小牧市歴史館と小牧山城史跡情報館において、小牧固有の歴史・文化遺産に触れられる機会を充実します。
- 市内に残る文化財の調査・研究を行い、貴重な文化遺産を後世に継承します。
- 小牧山をはじめとする市内文化財の環境整備を図ります。
- 郷土文化の情報発信に努めることで、歴史や文化への関心を高めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
小牧市歴史館及び小牧山城史跡情報館の来館者数		↑
指定文化財の数	41	↑

## 基本施策

### 男女共同参画

#### ◆現況と課題

- 職場や政治の場、社会通念・慣習やしきたりなどで6割以上の市民が、「男性が優遇されている」と感じています。また、小牧市における審議会等附属機関への女性登用率は3割未満であり、自治会やPTAなど地域社会における政策・方針決定過程への女性の参画率も伸び悩んでいます。「男性は仕事、女性は家庭」といった固定的な性別による役割分担意識を解消するためにも、地域で相互協力して活躍できる環境づくりが必要です。
- 出産や子育て、介護等の家庭の事情で仕事をやめざるを得ない女性が依然として多いため、ワーク・ライフ・バランスの浸透が必要です。男性中心型の働き方を見直し、多様で柔軟な働き方ができる環境づくりなどを進めるとともに、若者世代に対して、男女共同参画の視点を持ち一人ひとりが主体的に進路を選択できるようキャリアプラン教育を推進する必要があります。

#### ◆基本施策の目的及び状態指標

##### 【基本施策の目的：目指すまちの姿】

あらゆる分野へ男女がともに対等な立場で協力・参画し、個性と能力を発揮するとともに、多様な生き方や考え方、価値観を認め合うまちを目指します。

##### 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
女性（25～44歳）の労働力率	67.9%（H27）	↑

#### ◆基本施策の体系

##### 基本施策

##### 男女共同参画

##### 展開方向1

男女共同参画に向けた意識改革を推進します

##### 展開方向2

あらゆる分野における女性の活躍を推進します

#### ◆展開方向1：男女共同参画に向けた意識改革を推進します

##### 【目標】

- 地域における男女共同参画への理解を促進します。
- 若者世代に対して男女共同参画の意識を啓発します。

##### 【手段】

- 地域で男女共同参画に関する講座を開催するとともに、地域に男女共同参画普及員の配置を促進します。
- 小中学生に男女共同参画に関する冊子を配布し、授業等での利用を促します。また、高校生、大学生が男女共同参画について学ぶ機会を提供します。

##### 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
地域協議会での女性役員の割合	14.3%（H30）	↑

#### ◆展開方向2：あらゆる分野における女性の活躍を推進します

##### 【目標】

- ワーク・ライフ・バランスの普及と理解を促進します。
- 市が設置する審議会等へ女性委員の登用を推進します。

##### 【手段】

- 育児・介護休業制度などの情報を提供するとともに、企業向け講座を開催します。
- 審議会等へ女性委員を推薦するため、女性人材バンクへの登録を促進します。

##### 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
ファミリーフレンドリー企業の登録数	10社（H30）	↑
審議会等への女性委員の登用率	28.1%（H30）	↑